

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 30. 4. 6 第 196 回国会第 5 号

4 月 6 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 著作権法の一部を改正する法律案（内閣提出第 28 号）

- ・林文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小林茂樹君（自民）

- ・本法律案における柔軟な権利制限規定の立法趣旨及び制度設計について林大臣に伺いたい。
- ・権利者に許諾なく著作物を利用できる範囲を広げるだけでなく、権利者の利益を保護することについても、柔軟に行うべきであると考えているが、文化庁の見解を伺いたい。
- ・授業目的公衆送信補償金の徴収・分配に関し、どのような団体が行うか、また、同補償金の額をどのように設定するのか文化庁に伺いたい。
- ・教育の情報化の推進は、特別支援学級に通う児童生徒の学びを豊かにするために重要であると考えているが、文部科学省の取組及び考え方について林大臣に伺いたい。

中野洋昌君（公明）

- ・本法律案において、権利者の保護と著作物の利用の促進のバランスをどのようにとったのか、林大臣に伺いたい。
- ・障害者の情報アクセス機会の充実について、本法律案により権利面は措置されたが、現実に「録音図書」等が製作されやすくなるよう支援するべきと考えているが、厚生労働省の見解を伺いたい。

日吉雄太君（立憲）

- ・名古屋市教育委員会に対する事実確認は、多数の質問項目を具体的かつ詳細に短い期限内で回答させるなど、物理的・精神的にプレッシャーを与えるものであり、同市教育委員会に圧力をかけたのではないかと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・本事実確認の過程で行われた国会議員との打合わせ等については、文部科学省行政文書管理規則上、その経緯等を記録文書として作成する必要があるが、同文書の提出を求めたいと考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。

- ・本法律案による柔軟な権利制限規定は、著作物の利用者にとって利用行為の適法性が不透明であり、改善する必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

山本和嘉子君（立憲）

- ・京都府舞鶴市で行われた大相撲の春巡業において、挨拶中に倒れた市長に救命処置を施した女性に対して、土俵から降りるように促す場内放送が行われたことについて、林大臣の見解を伺いたい。
- ・大学や教職員が連携して Web 上の授業や生活指導などのコンテンツを共同利用する場合における著作権法上の課題について、文部科学省に伺いたい。
- ・公衆送信に係る補償金の徴収分配団体については、国の監督も含めて、公平性・透明性を維持した運用が必要であり、そのための方策について、文部科学省に伺いたい。

西岡秀子君（希望）

- ・著作権法は、昭和45年の法制定から現在まで、時代のニーズに合わせた制度改正が行われてきたが、今回の法改正案の意義について、林大臣の見解を伺いたい。
- ・新たに整備される柔軟な権利制限規定について、実際の運用に当たっての法解釈のガイドラインの策定が必要であると考えているが、文化庁の見解を伺いたい。
- ・今般の柔軟な権利制限規定の整備によって我が国のイノベーションの促進にどのような影響が与えられるのか、文化庁の見解を伺いたい。
- ・成人年齢の引下げを内容とした民法改正案が今国会に提出されたことを踏まえ、幼少期からの消費者教育の充実が必要であると考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・就学援助制度については、援助が必要であるにもかかわらず未申請の保護者が潜在的に存在することを踏まえ、同制度の更なる周知徹底に取り組む必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

- ・防衛省が存在しないと説明していた陸上自衛隊イラク派遣部隊の日報が発見されたことや財務省による決裁文書の書換えなど行政への信頼性を損ないかねない事案が続いていることについて、林大臣の見解を伺いたい。